

旅立ちの日 涙と感謝と 各校で卒業式



小野崎龍一校長（右）から修了証書を受け取る修了生

介護福祉科 歴史に幕

八学光星高専攻科

八戸

八戸学院光星高専攻科（小野崎龍一校長）は13日、2019年度の修了証書授与式を八戸パークホテルで開いた。自動車科の第45回生11人と、本年度で閉科する介護福祉科の第27回生9人が、2年間の学校生活の思い出と、保護者や教員への感謝の気持ちを胸に母校を巣立った。

修了生を代表し、介護福祉科軽米知耶さん（20）が「充実した意義のある2年間を駆け抜けてきた。心が折れそうになった時もあったが、友人や先生方の言葉に何度も支えられ、人を信頼する大切さを学べた」と話し、これまでの歩みを振り返った。

新型コロナウイルスの影響で、国歌斉唱はピアノ演奏のみとなった。

各科の修了生は、青森県内外の自動車販売会社や社会福祉施設などに就職する予定。

（船渡拓）